■農業委員の公募状況（令和6年3月31日）
1，被推薦者数　　0人
2，応募者数　　14人

○農業委員応募・推薦者一覧

	応募・推薦の別	応募者（被推薦者）	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	認定農業者の別	農地利用最適化推進委員への申込（推薦）の別	応募（推薦）理由	推薦をする者							
											団体等				農業者等			
											名称	代表者の職・氏名	目的	構成員の人数	氏名	職業	年齢	性別
1	応募	武内（たけうち）　豊（ゆたか）	自営業	65	男	昭和61年　就農 平成21年　野上水稲迫生産組合役員　就任 平成22年　下野上生産組合役員　就任 令和2年　行政区役員　就任	(現在休業中) 水稲・大豆 自作地32,304㎡	―	無	私は昭和61年から37年間水稲栽培に従事した。 減反政策時は地域担い手として添削主要作物である大豆生産を行い、収益向上に努めた。 町の農業を守りたいとの思いから今までの経験を活かし営農再開を考えている方々の支援をするために農業委員へ応募します。	―	―	―	―	―	―	―	―
2	応募	植杉（うえすぎ）　富夫（とみお）	自営業	64	男	大熊町農業復興組合　事務局 (令和元年4月から現在まで)	(現在休業中) 水稲 自作地12,000㎡	―	無	今後管理耕作が増えていく中で、農地の適正利用は欠かせない問題である。町内において農地の保全管理を行っている関係で、ある程度どこにどのような農地があるのか分かっている。また、農協に11年勤務していたこともあり、農地所有者もわかることが強みであることから、今回応募した。なお、トラクター2台、フレールモア、スライドモア、ロータリー等を所有しているので、委員会の各種作業に貢献できる。	―	―	―	―	―	―	―	―
3	応募	根本（ねもと）　友子（ともこ）	無職	76	女	平成20年7月大熊町農業委員会会長 現在　福島県農業会議理事　常設審議委員 双葉地方連合会会長	–	–	無	特定復興再生拠点の営農再開を見届けたい。	―	―	―	―	―	―	―	―
4	応募	鎌田（かまた）　恭行（やすゆき）	農業	56	男	平成4年　就農 平成9年　スポーツ推進員　就任	(現在休業中) 水稲　花き 自作地35,000㎡	–	無	平成4年から約19年間農業に従事して、当時減反政策のもと、空き地になった水田を利用して町内では珍しい花卉栽培(シクラメンetc)を経営していました。 町の農業を守りたいという思いから、当時の経験を活かし、営農再開をする方の支援をするために農業委員へと応募いたします。	―	―	―	―	―	―	―	―
5	応募	中島（なかじま）　幸広（ゆきひろ）	農業	65	男	昭和56年　就農	果樹 自作地　8,000㎡	○	無	震災以前の農業の再開で、農業委員として町の農業発展のため参加したいと思い応募しました。	―	―	―	―	―	―	―	―

6	応募	佐藤（さとう） 敏（さとし）	会社員 兼 農業	65	男	平成23年8月1日　就農 平成30年7月9日　農地利用最適化推進委員	梨 自作地　7,516㎡ 借　地　4,296㎡	○	無	私は震災年の平成23年8月より現在の避難先であるいわき市で耕作放棄地を開墾し、梨棚を作り梨を栽培し、道の駅四倉に出荷しております。 大熊町にては旭台錦台地区の農地保全を20ha行っていますが、終了後は農作物を大熊町にて作り大熊町農業の発展に貢献したいと考えています。	－	－	－	－	－	－	－	－
7	応募	髙野（たかの） 純一（じゅんいち）	農業 兼 会社員	64	男	平成8年～平成9年　大熊町大野幼稚園PTA会長 昭和58年　就農 平成12年～平成13年　消防団第九分団長 令和4年　大熊町社会教育委員	(休業中) 水稲　大豆 自作地　2,500㎡	－	無	私は就農40年間農業に従事しており、今後の大熊町農業の発展に貢献したい。	－	－	－	－	－	－	－	－
8	応募	木田（きだ） 重森（しげもり）	会社員	70	男	平成元年4月～平成31年3月　JA総代 平成12年4月～　共済部長	(休業中) 水稲 自作地　3,500㎡	－	無	当地区農地においては、まだまだ除染が進んでおらず農業経営はもちろん農業に従事することもままならない状況にあります。除染が進み農地利用等の最適化の推進や、今後予想される担い手不足に伴う耕作放棄地の増加が懸念されますので、農地利用計画・集積等により地域の発展に向けて活動をして行きたい。	－	－	－	－	－	－	－	－
9	応募	小田（おだ） 貴浩（たかひろ）	無職	61	男	昭和58年4月1日　大熊町農協　就職 平成12年1月1日　就農 令和6年2月29日　福島さくら農協　退職	(休業中) 水稲・大豆 自作地　48,000円	－	無	親から引き継いだ水稲栽培と早くから大豆栽培にも取り組み、町内での大豆栽培を促進してきました。また、長年従事したJAでの経験を活かし、農地の利用集積等を推進し、大熊の農業発展に貢献したい。	－	－	－	－	－	－	－	－
10	応募	尾内（おうち） ハツ子（こ）	無職	73	女	平成25年12月　民生児童委員 平成27年　農業委員	－	－	無	復興も進み、農業再開に取り組んでいる人も増えていると思います。農地をどう守るか、どう生かしていくのかを農業委員としてかかわっていけたらと応募しました。	－	－	－	－	－	－	－	－
11	応募	吉田（よしだ） 幸治（ゆきはる）	農業 兼 自営業	68	男	昭和52年4月　就農 平成26年　大熊町土地改良区理事 平成27年　大熊町農業委員	(休業中) 水稲 自作地　13,000㎡	－	無	私は就農後農業に従事しライスセンターの役員として地域農業の栽培促進を展開してきました。 また、農業委員として、農地の利用集積、集約を推進してきた経験を活かし、荒廃した農地再生を行いたい。	－	－	－	－	－	－	－	－
12	応募	渡辺（わたなべ） 聖孝（せいこう）	無職	58	男	平成26年　生産組合長 令和5年4月　熊一区副区長	(休業中) 水稲 自作地　20,000㎡ 借地　5,000㎡	－	有	子供の頃から農業に携わっており、仕事では農地改良工事なども手掛けた経験が有ります。この経験を生かし大熊町の農業発展に協力できればと思います。	－	－	－	－	－	－	－	－

13	応募	佐藤（さとう） 信康（のぶやす）	会社員	44	男	令和元年　農業法人　入社 令和4年　就農	（一部休業中） 水稲 自作地　38,000㎡	－	無	今後増えていくであろう耕作放棄地を利用・集約し、適切な農地運用をすることで後世へ大熊町での農業を遺していきたい。	―	―	―	―	―	―	―	―
14	応募	前田（まえた） 克浩（かつひろ）	農業	63	男	平成16年1月19日　認定農業者として就農 令和3年　大熊町農業委員会員	（一部休業中） 和梨 自作地　8,967㎡ 借地　20,874㎡	○	無	平成16年より認定農業者として和梨栽培に従事してきた。原発事故による避難で休業を余儀なくされたが、令和5年6月末に町に帰還し営農再開の準備中である。今後の予定として令和6年度中に梨棚、ぶどうハウスを設置、令和7年11月に苗木を定植し営農再開とする。 すでに町に帰還していること、また直近3年間の農業委員としての経験を活かし実証栽培、農地パトロール、地域計画作成等諸々の活動に協力し、大熊町農業、特に果樹生産の再生に協力したいと考えている。	―	―	―	―	―	―	―	―